

## 学校教育目標

つながりを大切に、豊かな心と健やかな身体を持ち、確かな学力を身に付けた児童の育成

目指す児童像

目指す教師像

| かしこさをもとめる子（学びに向かう力を高める）      |                                        |                                       | 自ら研修に努め、わかる授業を<br>実践する教師                |
|------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|
| 知識及び技能                       | 思考力・判断力・表現力等                           | 学びに向かう力・人間性等                          | 育ち合い学び合いを続ける教師                          |
| 活用できる確かな<br>基礎基本を身に<br>付けた子供 | 自分なりの見通しや考えを<br>基に、考えや思いを伝え合<br>い深める子供 | 自ら課題解決しようと授業<br>や読書活動、家庭学習に<br>取り組む子供 | 問題解決的・ICT 機器の活用<br>等、子供の学びを推進する授業<br>改善 |

## 学力向上 重点指導事項及び具体的方策

- ・ 問題解決的な学習過程が目指す「授業のこころ」の深い理解・振り返りの時間の十分な確保
- ・ ミライシード活用・個に応じた指導による学力の基礎づくり
- ・ 読む本を意図的に選択したり、友達に勧めたり読書の幅を広げる

（「5あ」との関連・・・あいさつ・返事・言葉づかい）

## 研究主題 主体性を高める算数科の学習指導の在り方

～調べる過程で、全員を話し合いの土台に乗せる授業づくりを目指して～

## 授業改善

- 問題解決的な学習過程（第五版）を基盤にした教材研究・研究授業
  - ・ 定期的な授業公開・協議を行う。また、その際に授業チェックシートを活用し、授業改善に努める。
- 学びを深めるための小グループによる先行した開き合い活動の充実
  - ・ 児童の実態を把握し、小グループの構成方法、開き合いの効果を協議会で検討する。
- 効果的な ICT 活用の模索
  - ・ 学習の目的に応じて、ICT 機器を活用する。主にミライシードを活用し、学びの進捗（深度）にあった問題を選んだり、合意形成を図る場面で活用したりできるようにする。
- 各種学力調査の実施と分析
  - ・ 全学・県学、CRT 学力検査等の結果を分析し、各学年の授業改善に活かすことができるようにする。

## 学習支援・環境づくり

- ミライシードの活用
  - ・ 基礎基本の定着を目指し、反復練習を多く取り入れるために、ミライシード「ドリルパーク」を学級タイムや单元テスト前などに積極的に取り組む。

## 家庭との連携

- 家庭学習の習慣化
  - ・ 家庭学習の質や量を見直し、児童の取り組み意欲を高める。また、必要に応じて、学年に合った学習カードを活用し、児童が前向きに取り組む、保護者が見守り励ますことができる環境を整える。

○ 学習ルール「盈科っ子まなびガイド」を作成

- ・ 「全員を話し合いの土台に乗せる」ために、目指す児童像を具現化し、学習ルールを作成する。家庭学習に関しても明記し、教職員と保護者で共通理解を図り、定着を目指す。

○ 盈科っ子チャレンジの実施

- ・ 長期休業中も児童が目標を持って、自ら家庭学習に取り組むことを目指して、長期休業明けに「盈科っ子チャレンジ」を実施する。

○ 読書の推進

- ・ 児童が意欲的に読書に取り組むことができるようにする。そのために、学校で設定した年間目標冊数を達成できるようにする。また帯時間を活用し、図書ボランティア「おはなしポツケ」の方々に読み語りをしてもらう。

○ 家庭学習の開き合い

- ・ 学級通信で学習内容を周知したり、懇談会などで家庭学習の取り組み方を紹介したりする。